

日本医師会生涯教育制度実施要綱の 改正について

平成21年9月30日

生涯教育制度全般

現 行

- ・ 申告は郡市区医師会から都道府県医師会を通じて、年度毎に毎年行う。
- ・ 10単位を取得したものに、修了証を発行（毎年10月頃）。
- ・ 3年連続で修了証が発行されたものに対し、認定証を発行（毎年12月頃）。
- ・ 10単位に満たないものも申告を行う。



改訂後

- ・ 申告は従来通り、郡市区医師会から都道府県医師会を通じて毎年行う。
- ・ 生涯教育カリキュラム<2009>の内容を取り入れるように努め、カリキュラムコード（略称：CC）も申告する。
- ・ 3年間で生涯教育カリキュラム<2009>のうち30単位以上かつ30カリキュラムコード以上の取得者に認定証を発行する。
- ・ 1年毎に発行していた修了証は発行せず、単位取得証を発行する。
- ・ 認定証には有効期限を表記する。

生涯教育カリキュラム〈2009〉



日医雑誌2009年4月号
に同封し全会員に配布
(約17万冊作成)
ホームページにも掲載

カリキュラムコード

1	専門職としての使命感	22	体重減少・るい瘦	43	動悸	64	肉眼的血尿
2	継続的な学習と臨床能力の保持	23	体重増加・肥満	44	心肺停止	65	排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
3	公平・公正な医療	24	浮腫	45	呼吸困難	66	乏尿・尿閉
4	医療倫理	25	リンパ節腫脹	46	咳・痰	67	多尿
5	医師－患者関係とコミュニケーション	26	発疹	47	誤嚥	68	精神科領域の救急
6	心理社会的アプローチ	27	黄疸	48	誤飲	69	不安
7	医療制度と法律	28	発熱	49	嚥下困難	70	気分の障害(うつ)
8	医療の質と安全	29	認知能の障害	50	吐血・下血	71	流・早産および満期産
9	医療情報	30	頭痛	51	嘔気・嘔吐	72	成長・発達の障害
10	チーム医療	31	めまい	52	胸やけ	73	慢性疾患・複合疾患の管理
11	予防活動	32	意識障害	53	腹痛	74	高血圧症
12	保健活動	33	失神	54	便通異常(下痢、便秘)	75	脂質異常症
13	地域医療	34	言語障害	55	肛門・会陰部痛	76	糖尿病
14	医療と福祉の連携	35	けいれん発作	56	熱傷	77	骨粗鬆症
15	臨床問題解決のプロセス	36	視力障害、視野狭窄	57	外傷	78	脳血管障害後遺症
16	ショック	37	目の充血	58	褥瘡	79	気管支喘息
17	急性中毒	38	聴覚障害	59	背部痛	80	在宅医療
18	全身倦怠感	39	鼻漏・鼻閉	60	腰痛	81	終末期のケア
19	身体機能の低下	40	鼻出血	61	関節痛	82	生活習慣
20	不眠	41	嘔声	62	歩行障害	83	相補・代替医療(漢方医療を含む)
21	食欲不振	42	胸痛	63	四肢のしびれ	84	その他

生涯教育制度申告書

現 行

改訂後

生涯教育単位記入表

平成20年度中に行った学習について、該当する下記項目に取得単位を記入して下さい。
 表中の単位数は1回あたり、または1(演)題あたりです。回数をかけて取得単位を計算して下さい。
 注:「日医雑誌」読後ハガキ・インターネット回答およびインターネット生涯教育講座セルフアセスメント解答による単位数は記入しないで下さい(すでに日医でデータ登録しています)。

学習方法の種類	単位	取得単位
1. 講習会・講演会等への参加 → 参加証、シール等の証明が必要です。		
(1) 日本医師会主催の講習会等	5	
(2) 都道府県医師会主催の講習会等		
(3) 郡市区医師会主催の講習会等		
(4) 日本医学会・日本医学会加盟学会主催の講習会・学会等	5	
(5) その他各種団体主催の講習会等	3	
2. 体験学習(病診・診診連携の中での学習) → テーマ、施設名等の記録を添付してください。		
共同診療、病理解剖見学、手術見学、病棟回診見学、症例検討会、CPCや小グループによる心電図・X線フィルム・US等の勉強会	5	
3. 各種業績 → 演題、著書名等の記録を添付して下さい。		
(1) 学会発表	5	
(2) 医学学術論文の執筆	5	
(3) 医学著書の執筆	5	
(4) 各種講習会、講演会等の講師	5	
(5) 臨床実習・臨床研修の指導医	10	
(6) 指導医のための教育ワークショップ参加	10	
(7) 医師国家試験問題作成(試験問題公募に対する協力)	3	
合計取得単位		

合計取得単位が「ない」または「少ない」方は、該当する下記の理由に必ず○をつけて下さい。

- 1 高齢 2 病気療養中 3 その他 ()

注: 10単位以上取得されている方は記入しないで下さい。

生涯教育制度単位等記入表(申告書)

学習単位

講習会等	医師国試	研修指導	体験学習	論文等執筆
単位	単位	単位	単位	単位
(単位上限なし)	(5単位まで)	(5単位まで)	(単位上限なし)	(5単位まで)

合計学習単位数 _____ 単位

カリキュラムコード

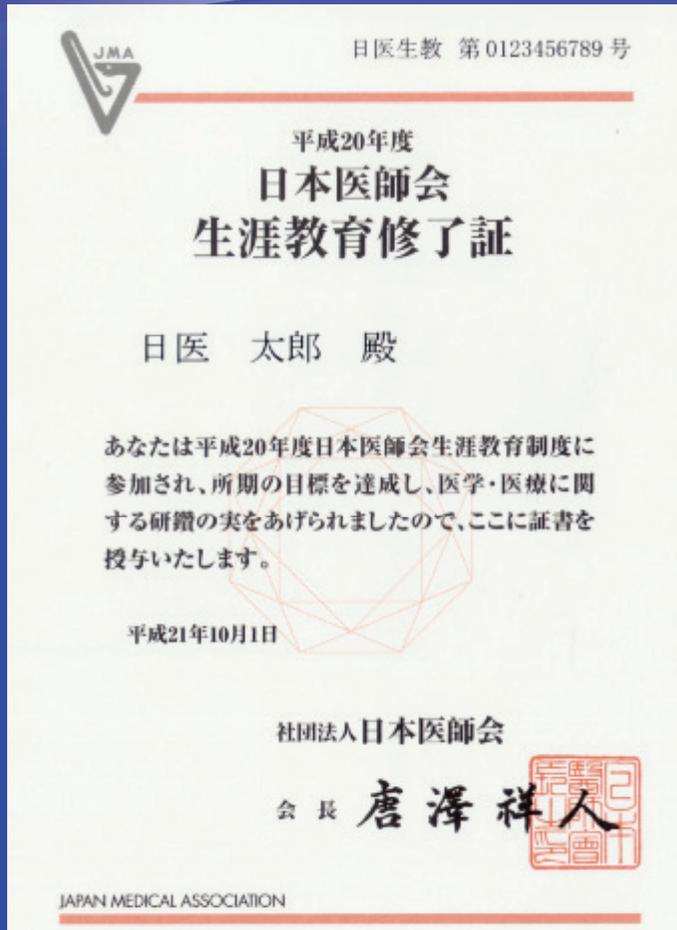
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84						

取得したカリキュラムコードに○を記入

取得カリキュラムコード数 _____

生涯教育修了証から単位取得証へ

現 行



改訂後

平成 23 年度
日本医師会学習単位取得証

日医 太郎 殿

あなたは平成 23 年度日本医師会生涯教育制度に参加され、以下の学習単位を取得したことを証明いたします。

24 単位
(平成 22 年度との合計 44 単位)

取得カリキュラムコード

1						7			
			4				8		
			14					19	
			14				18	19	
	22			25					
		23							
					36				40
			34				38		40
		43					48		
			44						
51						56			
	62						58		
			64						
								79	
		73					77		80
			84						
			84						

上段：平成 22 年度、下段：平成 23 年度

平成 22 年度 15 コード
平成 23 年度 16 コード
現在 84 コード中 27 コード

平成 24 年 10 月 1 日

社団法人日本医師会
会長 唐澤祥人

生涯教育制度認定証

現 行



改訂後

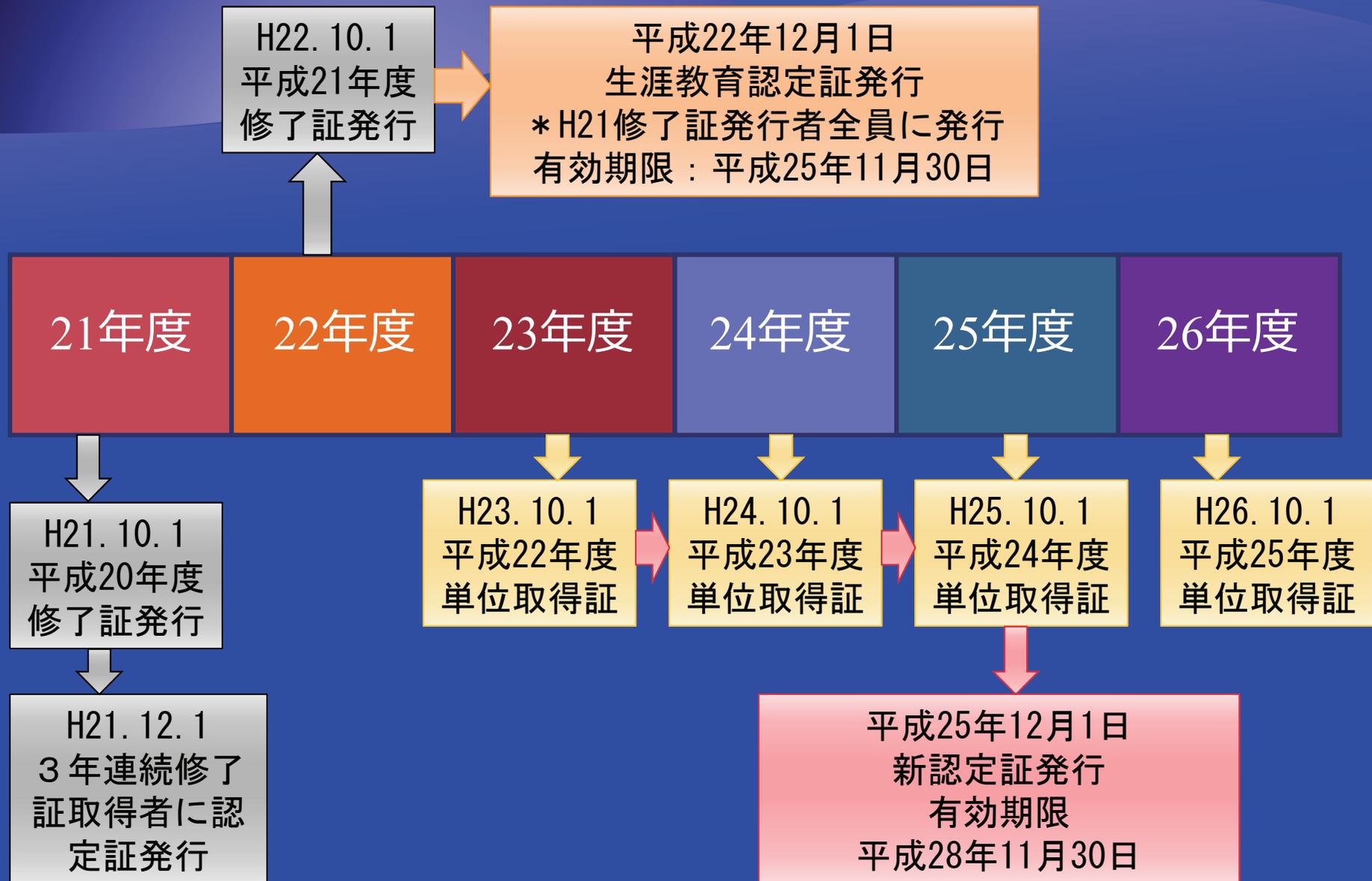
- ・ B5版からA4版とし、紙質も上げることにより見栄えのよいものとする。
- ・ 認定証には有効期限を表記する。

生涯教育認定証

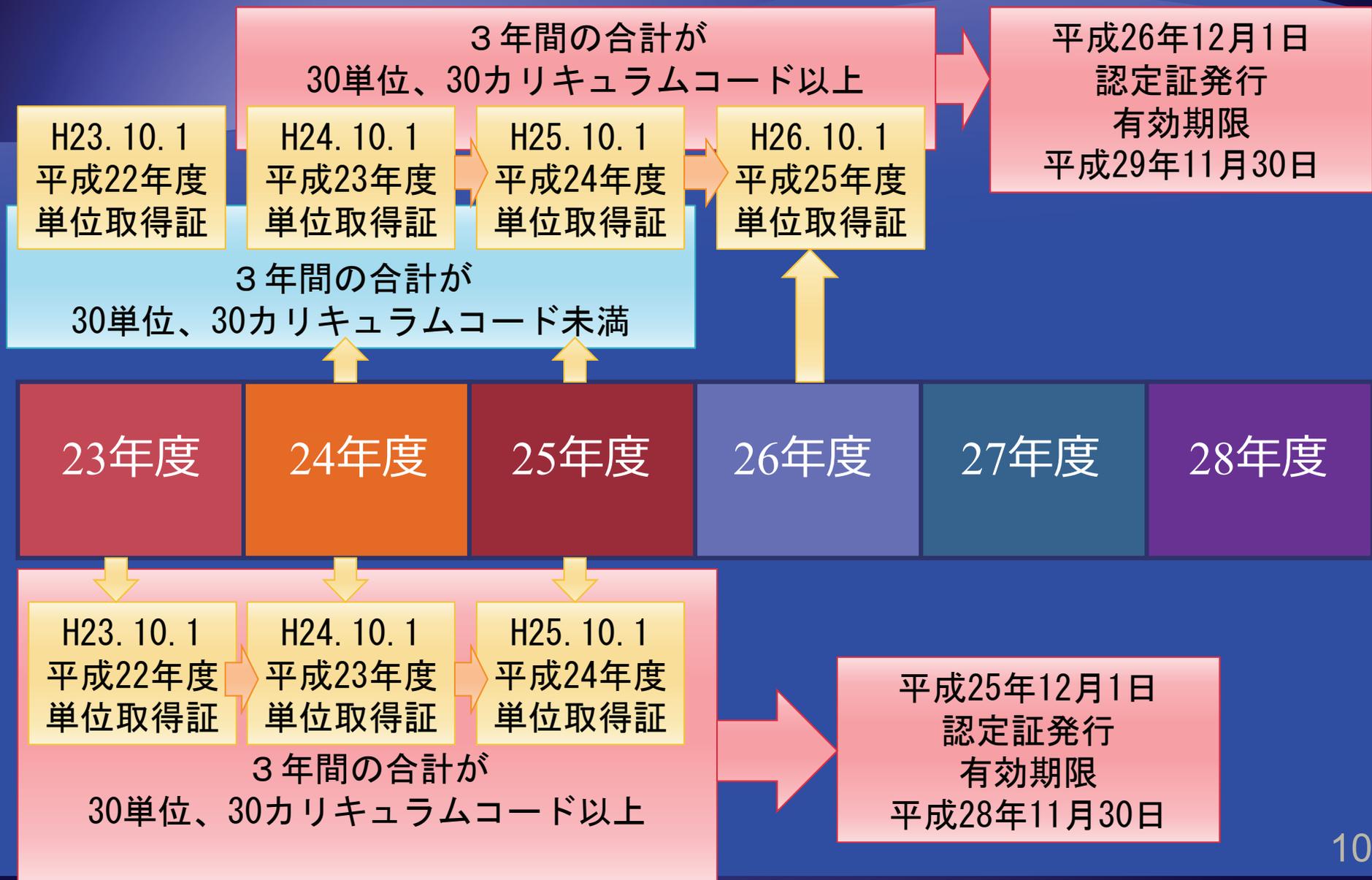
平成21年度生涯教育修了証発行者全員に、平成22年12月1日付で、生涯教育認定証を発行する。

その際、有効期限を平成25年11月30日と明記する。

認定証等発行スケジュール



認定証等発行スケジュール



単位設定

- ①日本医師会雑誌を利用した回答（アセスメント付）
- ②日本医師会 eラーニング
- ③講習会・講演会・ワークショップ・学会等
- ④医師国家試験問題作成
- ⑤臨床実習・臨床研修制度における指導
- ⑥体験学習（共同診療、病理解剖見学、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）
- ⑦医学学術論文・医学著書の執筆

日医雑誌における単位

現 行

- ・ 毎年5月号から9月号までの5回実施
- ・ はがきまたはインターネットで回答
- ・ 1回1単位
- ・ 上限は5単位
- ・ 印象に残った論文を1本挙げれば1単位。
- ・ アセスメントはなし。
- ・ 単位付与については、年度末にまとめて都道府県医師会を通じて通知。



改訂後

- ・ 日医雑誌1号につき、2カリキュラムコード。
- ・ 1カリキュラムコードについて5題出題（1号につき10題）。
- ・ 1カリキュラムコードにつき、アセスメントにより60%の正答率を得たものに0.5単位を付与。正答率を満たさないものは単位を付与しない。
- ・ インターネット、はがきとも回答は1回限り。回答期間は約7週間。
- ・ 単位付与については単位取得証をもって、年に1回まとめて連絡（インターネットで回答したものは随時確認できるようにする）。
- ・ 単位・カリキュラムコードの取得には、年間の上限を設けない。

日本医師会e-ラーニングにおける単位

現 行

- ・ 1コンテンツ1単位
- ・ 正答率60%を満たした回答により単位を付与しているものと、回答すれば単位を付与しているものと混在。
- ・ 毎年5月末に都道府県医師会を通じて、単位数を通知。
- ・ 単位数はインターネットで自分で確認できる。
- ・ 単位の上限はなし。
- ・ e-ラーニングで10単位以上取得した場合、申告がなくても修了証を授与。



改訂後

- ・ 1コンテンツ0.5単位・1カリキュラムコード。
- ・ アセスメントで60%の正答率を満たしたものに単位を付与。
- ・ 正答率を満たさなかった場合、再回答が可能。
- ・ 年間の単位、カリキュラムコードの上限はなし。
- ・ 単位付与については単位取得証をもって、年に1回まとめて連絡する（インターネットで随時確認できるようにする）。

講習会・講演会・ワークショップ・学会等における単位

現 行

- ①医師会主催の講演会等：5単位
- ②日本医学会・日本医学会加盟学会主催の講習会・学会等：5単位
- ③その他各種団体主催の講演会等：3単位

- ・ 2時間の講演会でも、3日にわたるものでも1回あたり単位は一律。
- ・ 主催により単位数が異なる。
- ・ 指導医のための教育ワークショップは10単位



改訂後

- ・ 講義時間1時間で1単位。
- ・ 1講習会等1日の上限は5単位まで
- ・ 1カリキュラムコードは最短30分（0.5単位）
- ・ プログラム及び参加証にカリキュラムコードを掲載する。
- ・ 演者、講師も単位の扱いは同じ。ただし、カリキュラムコード・2も付与可。
- ・ 年課の単位・カリキュラムコードとも上限を設けない。
- ・ 医師会、日本医学会主催のカリキュラムコードは事前に示す。
- ・ 日本医学会加盟学会主催のカリキュラムコードは自己申告。
- ・ それ以外の団体は、医師会に申告のうえ、カリキュラムコードを付与。

医師国家試験問題作成における単位

現 行

- ・ 3 単位

それ以外の規定はなし



改訂後

- ・ 都道府県医師会（郡市区医師会）に提出されたものについて1題1単位。
- ・ カリキュラムコードは「84」のみ付与。
- ・ グループで作成されたものについても1人1単位。
- ・ 年間の単位の上限は5単位まで。

臨床実習・臨床研修制度における指導の単位

現 行

- ・ 10単位
- ・ 研修プログラム、研修期間、研修医氏名などを記録したものを生涯教育申告書に添付する。



改訂後

- ・ 研修者1人を1日指導することにより1単位。
- ・ カリキュラムコードは「2」のみ付与。
- ・ 年間の単位の上限は5単位まで。
- ・ 研修病院、郡市区医師会等が証明を行う。
- ・ 日本医師会において提出様式見本を提示する。

体験学習（共同診療、病理解剖見学等）における単位

現 行

- ・ 1回5単位
- ・ 証明を不要とする。ただし、参加した体験学習の名称（施設名等）について自ら記録し、生涯教育申告書に添付する。



改訂後

- ・ 1時間1単位。上限は1回5単位まで。
- ・ 最小単位は30分で0.5単位（1項目は最短30分）。
- ・ それにより報酬を得るものについては体験学習とはしない。
- ・ カリキュラムコードは自己申告。
- ・ 年間の単位取得・カリキュラムコードの取得には上限を設けない。
- ・ 施設長・所属長等が証明を行う。
- ・ 日本医師会において提出様式見本を提示する。

医学学術論文・医学著書の執筆における単位

現 行

- ・ 医学学術論文・医学著書の執筆はいずれも1回5単位
- ・ 証明を不要とする。ただし、学会における発表等については、学会名、学会の開催日、演題等を、医学論文・著書の執筆については、掲載誌（紙）または発行所、論文名または著書名を生涯教育申告書に添付。



改訂後

- ・ 1回（または1件）あたり1単位。
- ・ カリキュラムコードは1回（または1件）につき2つまで自己申告。
- ・ 医学学術論文は題名・掲載誌・掲載頁・掲載年を、医学著書は書名・出版社・刊行年等を記入。
- ・ 年間の上限は5単位、10カリキュラムコードまで。

これまでの経過

- 8月19日 会長答申
- 8月25日 生涯教育推進委員会答申を常任理事会報告
- 9月 8日 常任理事会で協議
- 9月15日 理事会で協議、承認
- 9月16日 都道府県医師会に要綱を送付

今後のスケジュール等

- 11月19日 生涯教育担当理事連絡協議会開催